

広報ひこね

2003

1/1・15



冠雪した伊吹山を背にした市立病院（宇曽川右岸堤防から）



石崎さん（愛用の自転車とともに）

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、[☎情報政策課広報係](#)で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

どのコースも豊かな自然に恵まれ、視覚的にも楽しめますが、特に宇曽川堤防からは伊吹山をはじめ鈴鹿山系の諸峰が望めるのでいちばん好きな場所です。冬場は、雪化粧した伊吹の山容の中に新しい市立病院がすっぽりと収まり、なかなか壮観です。自然を満喫できる自転車生活者ならではの視点、いかがでしょうか。

彦根は比較的平坦な地形で、自転車で走りやすい環境にあります。私は、荒神山山麓・宇曽川、愛知川沿い、湖岸から米原町、鳥居本、多賀の山間地と三つのコースを日替わりで走っています。

石崎 洋一さん（中敷町）

表紙のことば

自転車は環境にやさしく、健康にもよい交通手段なので日常生活に多用するだけでなく、老化防止のため毎日20kmを目標に市内を走り、月平均500kmは走っています。